

明るい未来へ 食を育み
農業が躍動するまち おごおり



第2次 小郡市 食料・農業・農村 基本計画

令和8年3月 福岡県小郡市

はじめに

小郡市は、筑後平野の豊かな土壌と温暖な気候に恵まれ、古くから農業を基幹産業として発展してまいりました。市の南北を貫くように宝満川が流れており、その兩岸に広がる農地では、米、麦、大豆などの基幹作物が安定的に生産されるとともに、施設園芸による葉物野菜の生産も盛んに行われ、高い交通利便性を活かし、消費者、生活者に新鮮で安心・安全な農産物を届けています。本市の農業は、市民の食を支えると同時に、地域経済の基盤を形成し、豊かな農村景観を育んでいます。さらに、地域の文化や伝統を育み、自然と共生する暮らしを支える大切な営みです。



しかしながら近年、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。農業者の高齢化や担い手不足、気候変動による生産環境の変化、消費ニーズの多様化、世界情勢の不安定化による生産資材や燃料費の高騰など、課題は年々多様化、深刻化しています。

一方で、地域資源を活かした地産地消の推進や、環境に配慮した持続可能な農業の実践、スマート農業技術の導入など、新たな可能性も広がっています。

国においてもこのような農業を巡る情勢の変化を受けて、令和6年に「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」を制定以来25年ぶりに改正しています。

こうした状況を踏まえ、このたび本市において「第2次小郡市食料・農業・農村基本計画」を策定いたしました。本計画は、農業に適している平地の農地が多く、交通の要衝である等本市の持つ強みを最大限に活かし、次世代に継承できる持続可能な食と農の仕組みを構築することを目的としています。そのため、農業者をはじめ、市民、関係団体、行政が一体となり、未来に向けた食料・農業・農村のビジョンを共有し、着実に実現していきたいと考えております。

本計画が、市民一人ひとりの食と農への理解を深め、地域に誇りと活力をもたらす契機となり、今後とも、市民の皆様と共に知恵を出し合い、本市の食料・農業・農村の持続的な発展に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました「小郡市食料・農業・農村政策審議会」の委員の皆様をはじめ、活発なご意見をいただいた「明日の小郡の農業を創る会Ⅱ」の皆様、アンケート調査にて貴重なご意見をいただきました市民の皆様並びに関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和8年3月
小郡市長 加地 良光

- 目 次 -

はじめに

第1章 計画の基本的事項	1
1. 計画策定の趣旨・目的	2
2. 計画の位置付け	5
3. 計画の期間	5
第2章 本市の現状と課題	7
1. 自然・社会条件	8
2. 本市の現状	16
3. 本市の課題	33
第3章 本市農業が目指す将来像	35
1. 基本理念	36
2. 施策の三本柱	37
第4章 施策の体系と三本柱	39
施策の体系図	40
1. 食料	41
2. 農業	46
3. 農村	56
第5章 施策指標	65
1. 食料	66
2. 農業	67
3. 農村	69

第6章 施策の推進 71

1. 各主体の役割	72
2. 計画の推進体制	77
3. 計画の進行管理	77

資料編 79

1. 計画策定の経過	80
2. 小郡市食料・農業・農村政策審議会 委員名簿	81
3. 明日の小郡の農業を考える会Ⅱ 参加者名簿	82
4. 小郡市食料・農業・農村基本条例（抜粋）	83
5. （国）食料・農業・農村基本法（抜粋）	85
6. （国）食料・農業・農村基本計画（抜粋）	89
7. 福岡県農林水産振興基本計画（抜粋）	91
8. 市民アンケート調査結果	94

